

# ごみを減らしてSDG s & CO2削減！ 世田谷区民の行動が変わる普及啓発

NPO元気ネット

世田谷区清掃・リサイクル部事業課

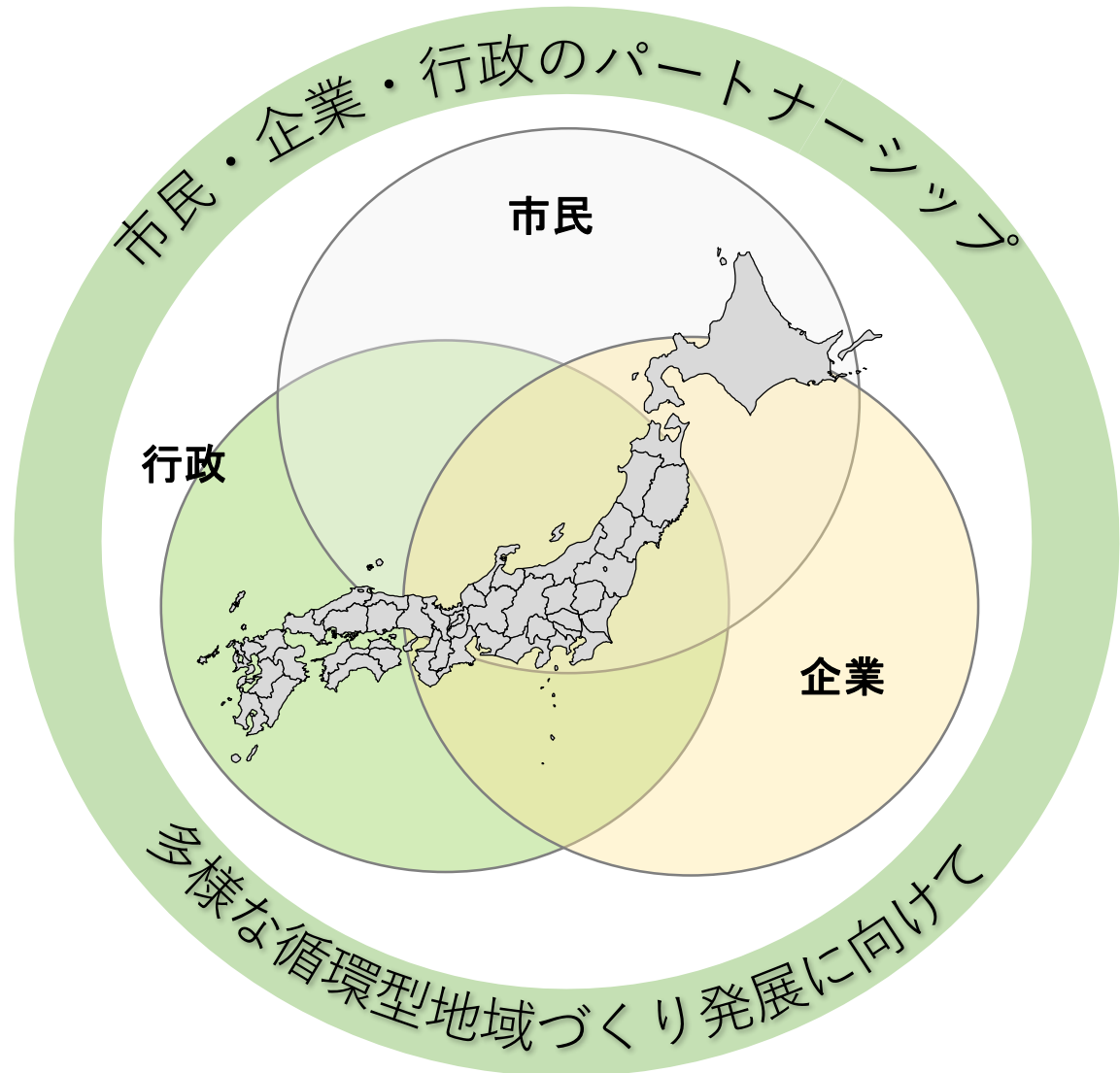
# NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット

## NPO GENKI Net for Creating a Sustainable Society

◎1996年から連携・協働  
によるごみ問題解決と  
地域づくりの推進

◎批判や対立ではなく、  
常に市民目線の提案

◎学び合いの場づくり  
と共創



# NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット活動歴

- 1996年 任意団体「元気なごみ仲間の会」（代表 松田美夜子）発足
- 2001年 「市民が創る環境のまち“元気大賞”」12年間継続実施
- 2003年7月 「持続可能な社会をつくる元気ネット」として内閣府へNPO登録
- 2005年 「タイ地域環境活動調査」（国際協力銀行事業）
- 2007年 平成19年度環境保全功労者等環境大臣表彰受賞
- 2007年～2017年 「共に語ろう 電気のごみ ～もう、無関心ではられない～」  
（資源エネルギー庁草の根広報事業）地域ワークショップを全国各地で開催）
- 2009年 「アジア3R推進市民ネットワーク」運営事務局（環境省と連携）  
～2011年3月 国内の3R活動のNGO18団体と連携し、日本大会を3年間継続開催  
（11年シンガポール、12年ベトナムにて、3R制度等実施状況と連携NGOの調査実施）
- 2011年～現在 「3R市民リーダー育成事業」（3R推進団体連絡会委託事業）
- 2012年～現在 「地域連携セミナー」「循環・3Rシンポジウム」（3R活動推進フォーラムと共催）
- 2013年～現在 「雑がみを活かそう！連携事業」（コアレックス信栄委託事業）
- 2013年 「連携で共創する地域循環圏めざして～個別リサイクル法見直しに向けた  
～2016年3月 マルチステークホルダー会議の開催」（地球環境基金助成事業）
- 2016年 「東京2020レガシー『持続可能な未来』をめざす連携のプラットフォーム」
- 2017年～ 「家電」「自動車」「食品ロス」等の普及啓発事業実施中
- 2019年～ 「リチウムイオン電池排出に関する」普及啓発事業実施中（日本容器包装リサイクル協会連携事業）
- 2020年 「ワンウェイプラスチックの水平リサイクルに向けた資源循環型モデル事業」  
（東京都ビジネスモデル事業）に参画
- 2021年～ 「T O K Y O 2020 レガシー報告会」

# 元気ネットのセミナー・情報提供・動画等

2020年1月 東京都環境公社  
中央防波堤埋立処分場見学会  
食品ロス削減ワークショップ



家庭から出る「食品ゴミ」を減らす工夫を学ぼう！

エコプロOnline2020  
SDGsWeek出展者セミナー



2021年11月2日NHK「あさイチ」  
理事長の鬼沢良子出演



正しい分別とリサイクル、資源循環がSDGsの目標12につながることを解説

## 楽しく学ぶ容器包装の3R



クイズ  
3問



## 容器包装の3Rクイズ①②



パペットが登場  
4問×2でクイズは8問



★一般向け、若者向け、子ども向けなど、対象に合わせた動画を作成。

# 提案型協働事業の目的

《ごみ削減 = CO2削減》

ごみ削減には、区民一人一人の意識の変化、行動変容が必要。

- ・個人のライフスタイルとSDGs、CO2削減との関わりについて伝える。
- ・なぜ、ごみ削減が必要か、毎日のくらしの中でどのような行動をしたら良いのか等の情報提供を行う。
- ・食品ロス削減に重点を置き、持ち帰りなど、具体的な行動に繋がるグッズ等を紹介する。

以上により、

**区民の意識変化、行動変容を喚起する。**

# 提案型協働事業の内容

## 1. 区民向けセミナーの開催（2回）

■テーマは「食品ロス削減」

point① 動画による工場見学：視覚情報で、現状を実感

point② 専門の講師を招聘：SDGs・CO2削減、食品ロスの現状解説

point③ 参加型セミナー：グループワークあり

point④ 持ち帰り容器の紹介(配付)：参加意欲、行動変容の喚起

## 2. デジタルコンテンツ作成協力

- ・エコプラザ用賀、リサイクル千歳台（年間来場数合計：約5万人）でのモニターを使用。
- ・施設見学の合間に見ていただける、短くインパクトのあるデジタルコンテンツの作成に協力。

★1・2とも、企画段階から子育て世代や学生層にヒアリングを行い、若い世代の感覚・視点を取り入れる。

# 清掃・リサイクル部事業課 世田谷区の目標と施策

## ■目標

- ・ 2030年までに家庭及び事業所から出る食品ロスの量を2000年比で半減する。（世田谷区食品ロス削減推進計画）
- ・ 令和6年度の区民1人1日あたりのごみ排出量の目標値を482（g/人/日）に設定。（世田谷区一般廃棄物処理基本計画）

## ■施策

区民・事業者・行政の連携

不用な「もの」を出さない暮らしや事業活動の促進

分別の徹底とリサイクルの推進

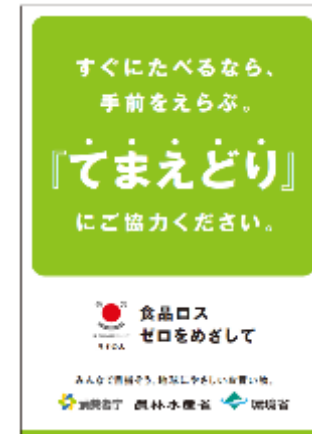
# 清掃・リサイクル部事業課と元気ネット 協働による課題解決に向けて

- ★区民・事業者・行政の視点をもって  
ごみ減量にむけて取り組むことができる。
  - ★企画段階から若い世代の感覚・視点を取り入れることで、将来にわたっての波及効果が見込める。
  - ★国、都、事業者の取り組みを知る。  
そして身近な世田谷区の現状を知る。
- ⇒日常生活でできる行動の促進**



# 清掃・リサイクル部事業課と元気ネット 協働による課題解決に向けて

## ■セミナー紹介素材案



## ■講師候補案《関連の最新情報を知り、日々の暮らしに役立てるための講師を選定》

日本フードエコロジーセンター 社長 高橋巧一氏  
日本女子大学 教授（フードシステム論） 小林富雄先生  
東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科 准教授 入江満美先生

- ◆高橋氏、小林先生、入江先生にはすでに打診し、講師候補及び事前ヒアリングの学生紹介は承諾済み。
- ◆世田谷区のボーイスカウト団に、子育て世代の事前ヒアリング打診中。

# 清掃・リサイクル部事業課と元気ネット 協働による課題解決に向けて

